

サイレージ用トウモロコシ新品種「ゆめちから」の栽培特性

江口研太郎・池谷文夫・伊東栄作・濃沼圭一<sup>1)</sup> (九州農業試験場・<sup>1)</sup> 北海道農業試験場)

Kentaro EGUCHI, Humio IKEGAYA, Eisaku ITO and Keiichi KOINUMA :  
Cultivation Properties of New Silage Maize Variety "YUMECHIKARA"

サイレージ用トウモロコシ新品種「ゆめちから」は既存の普及品種を大きく上回る耐倒伏性を示すことから、標準的な栽培法での普及だけでなく、耐倒伏性品種が求められる密植栽培、遅播き栽培での活用も期待される。そこで、本研究では「ゆめちから」の栽植密度反応と播種期反応について検討したので報告する。

1. 材料および方法

1) 栽植密度試験:「ゆめちから」,「DK623」,「セシリア」を供試した(第1表)。試験期間は1997年~1999年の3カ年で、播種期は4月上旬とした。栽植密度は584本/a, 667本/a, および784本/aとし、試験は2反復の分割区法で行った。生育期間中、絹糸抽出期、倒伏個体率などを調査し、黄熟期に収量調査を行った。

2) 播種期試験:「ゆめちから」,「DK623」,「セシリア」を供試品種とした(第1表)。試験期間は1997年, 1998年で、栽植密度は667本/aとした。播種期は4月下旬, 5月中旬, および5月下旬とし、試験は2反復の分割区法で行った。生育期間中、絹糸抽出期、倒伏個体率などを調査し、黄熟期に収量調査を行った。

2. 結果および考察

第2表に栽植密度試験の結果を示した。絹糸抽出期は全供試品種とも、栽植密度によって大きく変化することはない。稈長は全供試品種とも、密植になるに従い高くなった。倒伏個体率は全供試品種とも、密植になるに従い高くなったが、「ゆめちから」は密植区においても低い値を示した。乾雌穂重割合は全供試品種とも、密植になるに従い低下したが、「ゆめちから」は密植区においても高い値を示した。有効雌穂割合は全供試品種とも、密植になるに従い低下したが、「ゆめちから」は密植区においても高い値を示した。以上のことから、「ゆめちから」は密植栽培においても優れた耐倒伏性と多収性を示す密植適性品種であると判断された(第1図)。

第3表に播種期試験の結果を示した。稈長は全供試品種とも、遅播きになるに従い高くなる傾向がみられた。倒伏個体率は全供試品種とも、4月下旬, 5月中旬播種で高かったが、「ゆめちから」の倒伏個体率は標準比較品種に比べ非常に低い値であった。また、5月下旬播種では全供試品種とも、倒伏の被害を受けなかったが、これは台風が到来した時期に5月下旬播種の個体は、まだ幼苗であったため影響を受けなかったものと考えられる。一般的には播種期が遅いほど、台風に遭遇する機会が増し、倒伏の被害は大きくなる。乾総収量は全供試品種とも、遅播きになるに従い下がる傾向がみられた。乾雌穂重割合は全供試品種とも、遅播きになるに従い高くなる傾向がみられた。有効雌穂割合は全供試品種とも、遅播きになるに従い高くなる傾向がみられたが、「ゆめちから」は全播種期とも100%の有効雌穂割合を示した。一

般的に、トウモロコシの収量を高めるには早播きが求められるが、前作との関係で遅播きが必要となる場合は、台風に遭遇する機会が増すことから、耐倒伏性に優れた品種を選定する必要がある。このことから、5月下旬播種においても優れた耐倒伏性と多収性を示す「ゆめちから」は、播種適期の長い品種であると判断された。

第1表 供試品種の生育特性

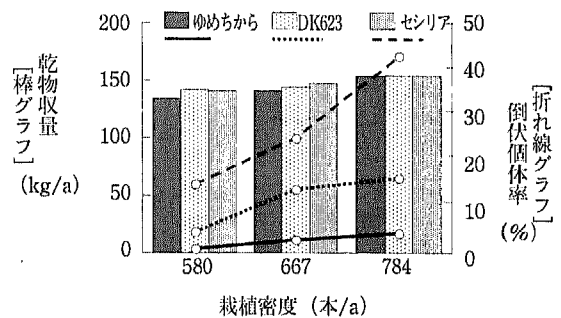
品種	絹糸抽出期 (月/日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)
ゆめちから	6/28	193	98
DK623	6/29	216	91
セシリア	6/30	215	111

注)九州・四国・中国地域の平均値

第2表 栽植密度反応 (育成地1997-1999年)

栽植密度 (本/a)	品種名	絹糸抽出期 (月日)	稈長 (cm)	倒伏 個体率 (%)	乾総収量 (kg/a)	乾雌穂 重割合 (%)	有効雌穂 割合 (%)
疎植 (580)	ゆめちから	6.25	193	1.1	134.9	47.1	100.0
	DK623	6.25	213	4.5	142.3	44.2	96.7
	セシリア	6.27	211	15.0	143.5	48.6	99.2
標準 (667)	ゆめちから	6.25	195	2.8	141.3	46.5	99.2
	DK623	6.26	213	13.8	144.2	43.8	95.0
	セシリア	6.27	217	25.1	148.6	48.1	99.4
密植 (784)	ゆめちから	6.25	200	4.4	154.4	43.6	99.2
	DK623	6.26	211	16.4	154.7	39.8	93.3
	セシリア	6.27	223	42.9	154.8	42.5	84.2

注)倒伏は折損を含む値



第1図 栽植密度と乾物収量および倒伏個体率との関係

第3表 播種期反応 (育成地 1997-1998年)

播種期	品種名	絹糸抽出期 (月日)	稈長 (cm)	倒伏 個体率 (%)	乾総収量 (kg/a)	乾雌穂 重割合 (%)	有効雌穂 割合 (%)
4月下旬	ゆめちから	7.1	186	2.0	157.1	46.3	100.0
	DK623	7.2	210	14.8	154.1	47.2	97.5
	セシリア	7.1	214	17.0	161.7	48.2	96.3
5月中旬	ゆめちから	7.10	192	1.3	142.8	49.1	100.0
	DK623	7.9	214	38.7	142.7	49.5	98.8
	セシリア	7.11	212	31.8	155.9	52.1	100.0
5月下旬	ゆめちから	7.23	196	0.0	144.3	50.3	100.0
	DK623	7.22	215	0.0	146.7	54.1	100.0
	セシリア	7.24	215	0.7	150.2	49.6	100.0

注)倒伏は折損を含む値